

幡多の太陽

令和元年11月11日 第14号

幡陽の子どもたちのすばらしさを感じた場面

子どもたちが音楽朝礼のため、職員室前の廊下を通り、体育館に移動していました。その時、わたしたち教職員は、朝の職員朝会を職員室でしていました。連絡事項が多くあったため、職員朝会が少し長引いてしまいました。子どもたちは体育館への移動も終え、わたしたち教員が来るのを待っているはず、何もすることがないのでザワザワしてきつと待っていることだろう…とっていました。何もすることがなければ、子どもがザワザワするのは当たり前、それを注意したりするのはおかしい、準備ができていない・指導ができていない自分の落ち度だという考えをわたしは持っています。ですから、音楽朝会で指導に当たる教員がいなければ当然子どもたちはザワザワしている、何もしていないはずとっていました。

しばらくすると、体育館から、ピアノ演奏に合わせ歌っている子どもたちの歌声が聞こえてきました。「えっ、誰が弾いているの?誰が歌わせているの?」と思いました。職員朝会をまだしていたので誰も教員は体育館に行っていないはずなのです。それなのに・・・。

職員朝会が終わって、すぐに体育館に行ってみました。すると、6年生の形岡美海さんがピアノを弾いていました。全校児童がステージに上がり、その演奏に合わせて歌を歌っていました。すばらしいなあと思いました。美海さんの演奏も誰か先生が弾いていると思うくらいだったのももちろんすばらしかったのですが、教員がついていなくても自分たちだけでこのように練習ができている、ということがすばらしいと思いました。きっと、5・6年生が中心となり、みんなに声かけをしてくれたのだと思います。

音楽交流会がさらに楽しみになりました。



大岐じんけんふれあい収穫祭に参加

11月4日(月)に、大岐区長場前広場及び大岐福祉センターにおいて第11回大岐じんけんふれあい収穫祭が行われました。毎年、幡陽小学校は、これに合わせて、この日を人権教育参観日とし、この行事に参加させてもらっています。今年も、鼓笛隊演奏、防災標語の発表、人権作文の発表、そして、太刀踊りや子ども会による防災クイズなどで参加しました。この祭りを通して、人権や差別について考える場になるとともに、地域の皆様と学校や子どもたち、保護者が協力し合う中でよりつながりを持つことができたのではないかと思います。保護者の皆様には、飲み物・芋天販売もしていただき、地域の皆様や子どもたちもとても喜んでいました。出店が少なくなる中、ご協力ありがとうございました。



1・2年生は、チクチク言葉・ふわふわ言葉についての学習でした。



3・4年生は、自分ならどうするかについて考えていました。



5・6年生は、高知県を中心に全国へ広まった教科書無償運動について学習しました。



美海さんの堂々とした、そして内容のある開会宣言から始まりました。とても立派でした。その後、鼓笛隊の演奏でした。祭りのスタートを盛り上げました。



全校児童が防災標語を発表しました。姿勢がすばらしい。



綾花さんは、地域のつながりの大切さについて発表しました。自分たちの取り組みを通しての思いがしっかり書けていました。唯那さんは、手話サークルの活動についての発表でした。出会いを通して人は成長します。いろいろな体験、大切ですね。

校内音楽発表会並びに音楽交流会の日程

校内音楽発表会

- 1、日時 11月12日(火) 8:20 ~ (20分程度の発表)
- 2、場所 幡陽小体育館

清水地区音楽交流会

- 1、日時 11月15日(金) 9:00 ~ 11:30
- 2、場所 市民文化会館ホール



地域の方と一緒に踊りました。練習の成果が出ていました。



楽しい、そしてためになる防災クイズでした。



避難訓練もしました。タワーへ猛ダッシュ!

